

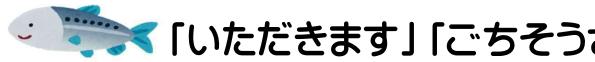


~「安全・安心で元気な学校」づくりのために~

今年度の重点教育目標

『進んで学び、仲間と共に自律的で
より良い生活をつくることができる子どもの育成』

令和5年 9月29日（金）



「いただきます」「ごちそうさま」～感謝の心

■ 私が子どもの頃、食卓に魚料理が出ると、父の皿の上には骨しか残りませんでした。私や家族の者が食べ散らかした魚は必ず父の前に置かれ、父は何も言わず骨に付いている身を見事に食べてくださいました。

「人間が食べるのために、魚を獲っているんだ。人間の勝手な都合だから、責任をもって最後まで食べることが、その魚のためになるんだよ」

大人になり、金子みすゞさんの詩『大漁』を目にしたとき、父の言葉と魚を食べる姿が、心の中に浮かびました。

朝焼小焼だ 大漁だ 大羽鰯（おおばいわし）の 大漁だ

浜は祭りの やうだけど 海のなかでは 何万の 鰯のとむらひ するだらう

それ以降、食べられるものへの感謝の心をもって、「(いのちを)いただきます」と言わなければならぬと、私は強く意識するようになりました。そう言えば、祖母も食事のとき、私たち孫によく言ったものです。

「一粒のお米には、七人の神様がいるんだよ」

そのもののいのちをいただくということの他に、自分の目の前に並ぶまでに関わった全てのことや人に感謝の気持ちを込め、「いただきさせてもらう」ということも教えてくれているようです。これは、「ごちそうさま」の意味にもつながります。「馳走」は、お客様をもてなすために走り回り、用意をすることです。それに対して感謝の意味を込めて、「様」を付けたことが、江戸時代の後期から食後の挨拶となったようです。

C・W・ニコル氏は、著書『C・W・ニコルのいただきます』（小学館）で、
「『いただきます』ということばを、ぼくはとても気に入っています。英語には、こんなに素敵で、しかも役に立つことばはありません。考えてみると、この『いただきます』ということばのもつ情感、深み、センスといったものこそは、日本文化の真髄であり、日本の心そのものだといえるのではないでしょうか」

と述べています。

学校では給食のときに、子どもたちの「いただきます」と「ごちそうさまでした」の声が教室から聞こえています。それらの言葉がもつ、本当の意味である感謝の心を忘ることなく、向陵っ子にはこれからも、声に出して言い続けてほしいと願っています。



通知表～向陵っ子の頑張り

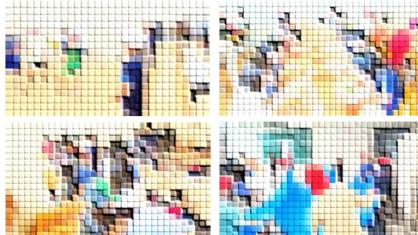
■ 本日で学校の前期が終了し、来週からは後期となります。子どもたちは、前期の通知表「あゆみ」を持ち帰っています。何ができるようになったのか、何を頑張ったのか等の励みであるとともに、これから の目標を立てるための情報もあります。ぜひ、お子様の頑張りを認め、褒め、励ましてください。そして、お子様と目標を共有し、これからもお子様の頑張りを見守り、応援してあげてください。学校も、お子様の成長と目標達成のために、指導や支援の方法等の改善を進めていきます。



宿泊研修～仲間と共に

■ 9月5日（火）～6日（水）の2日間、5年生は北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル深川（深川市）で、初めて泊を伴う宿泊研修を行いました。子どもたちは各自目標を立て、学年のめあてを守りながら、様々な学習を行いました。地図を片手に仲間と一緒にウォーキング、自然の素材を使った製作、フロアカーリングといったスポーツ等、初めての体験を楽しみました。仲間のよさや大切さに、改めて気付かされる2日間になったようです。

今回の経験は、今後の学校生活にきっと生きてくることと思います。



いじめに関する学習

■ 旭川市内の小学校5年生から中学校3年生までの児童生徒が利用できる「チャットによるいじめ相談」について、市が依頼した講師による授業を、8月30日（木）に行いました。5・6年生の子どもたちは真剣に考え、講師からの問い合わせにしっかりと答えていました。その立派な向陵っ子の姿に、講師の方はとても感心されていました。

10月は、いじめに関する各学年の取組について確認したり、いじめの早期発見・早期対応のためのアンケート調査を実施したりする等の取組を進めています。

日

曜

10月の行事予定

※行事予定は変更になる場合があります。

校内ドッヂボール大会

■ 体育委員会が企画・運営した9月の取組です。子どもたちは休み時間にグラウンドや体育館で、1・2年生、3・4年生、5・6年がそれぞれ紅白に分かれて異学年チームを編制し、対戦しました。みんなで元気に、楽しい時間を過ごしました。



鑑賞スペシャル

■ 子どもたちが本物の文化・芸術に触れる取組として9月26日（火）、体育館にて北海道教育大学旭川校音楽分野2年生によるコンサートが行われました。素晴らしい演奏と歌声をマナー良く聴き、音楽に合わせて手拍子や体を動かし、楽しむことができました。

